



第8回高知の輝くシニア大賞受賞者決定

高知県社会福祉協議会では、県内で長年、地域づくりやスポーツなどに尽力されるシニアを称える「高知の輝くシニア大賞」を実施しており、今年は、大賞1名、地域貢献部門特別賞1名、スーパーシニア部門特別賞1名、いごっそう賞1名、はちきん賞2名、キラリ賞6名、奨励賞10名の過去最多計22名の方々が受賞されました。

今回大賞を受賞されたのは、「高知県弓道連盟」の高知市在住の楠瀬 甲一さん(96歳)です。

応募のあった方は、どの方の活動も素晴らしく甲乙つけがたいと審査員も頭を悩ませましたが、年齢を感じさせず、弓道を通して30年以上にわたり、ご自身の生きがい・健康づくりはもちろんのこと、弓道連盟運営等の普及活動に尽力する楠瀬さんの姿が高く評価され、見事大賞を受賞されました。

楠瀬さんは、15歳から弓道を始め、戦争を機に一度は離れていましたが、教職の定年に伴い、62歳を迎え46年ぶりに弓を握り、本格的に練習を始められました。

全国から60歳以上の代表選手が参加するスポーツの祭典「ねんりんピック」の弓道競技では、平成3年開催の第4回岩手大会から平成30年開催の第31回富山大会まで計10回出場され、富山大会では93歳で高知県選手団最高齢選手、また弓道競技の監督を務め、選手団の活躍に貢献されました。

現在も、弓道場「弘徳館」で週3回の練習を欠かさず継続され、また弓道連盟発展のため、ボランティアで毎週2回、後継者7名の指導にあたっています。

その姿はまさにスーパーシニアであり、これまでの功績からも弓道会のレジェンドとして選手の目標となっています。

今回のシニア大賞では、楠瀬さん以外にも地域貢献やスポーツや文化活動など、各分野で活躍される21名の方々が受賞されました。

本会では、今回の表彰を通じて、充実したセカンドライフの情報発信を行い、より多くの方に、いきいきとしたシニアライフについて考えるきっかけとしていただければと考えています。

今回受賞された方については、シニア川柳受賞者の方々と合わせ、3月下旬に県立ふくし交流プラザで表彰式を執り行う予定です。

また、各受賞者の活動は、本会発行の「WEB版タマテバコ創刊号」、ホームページ「高知いきがいネット」で紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

【お問い合わせ先】

社会福祉法人高知県社会福祉協議会

いきいきライフ推進課（担当：北村 昌也）

TEL：088-844-9054 E-mail：ikigai@pippikochi.or.jp

HP：<https://www.kochiken-shakyo.or.jp/>

<https://www.pippikochi.or.jp/ikigai/>（生きがいネット）